

(トップページ : <http://mylibrary.maedal.jp/> )

(世界ランクシリーズ : <http://mylibrary.maedal.jp/MENAranking.html> )

マイライブラリー : 0 6 1 3

(注)本稿は2024年10月1日から8日まで3回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2024.10.10

前田 高行

## イランを下回るイスラエルの平和ランク : 世界平和指数

(世界ランクシリーズ その8 2024年版)

国連などの国際機関あるいは世界の著名な研究機関により各国の経済・社会に関するランク付け調査が行われている。これらの調査について日米中など世界の主要国及びトルコ、エジプト、イランなど中東の主要国のランクを取り上げて解説するのが「世界ランクシリーズ」である。

第8回の世界ランクは、NGO グループ Vision of Humanity が The Economist Intelligence Unit (EIU、英国の経済誌エコノミストの一部門)のデータをもとに取りまとめた「The Global Peace Index 2024」をとりあげて比較しました。

\*Vision of Humanity のホームページ :

<https://www.visionofhumanity.org/wp-content/uploads/2024/06/GPI-2024-A3-map-poster.pdf>

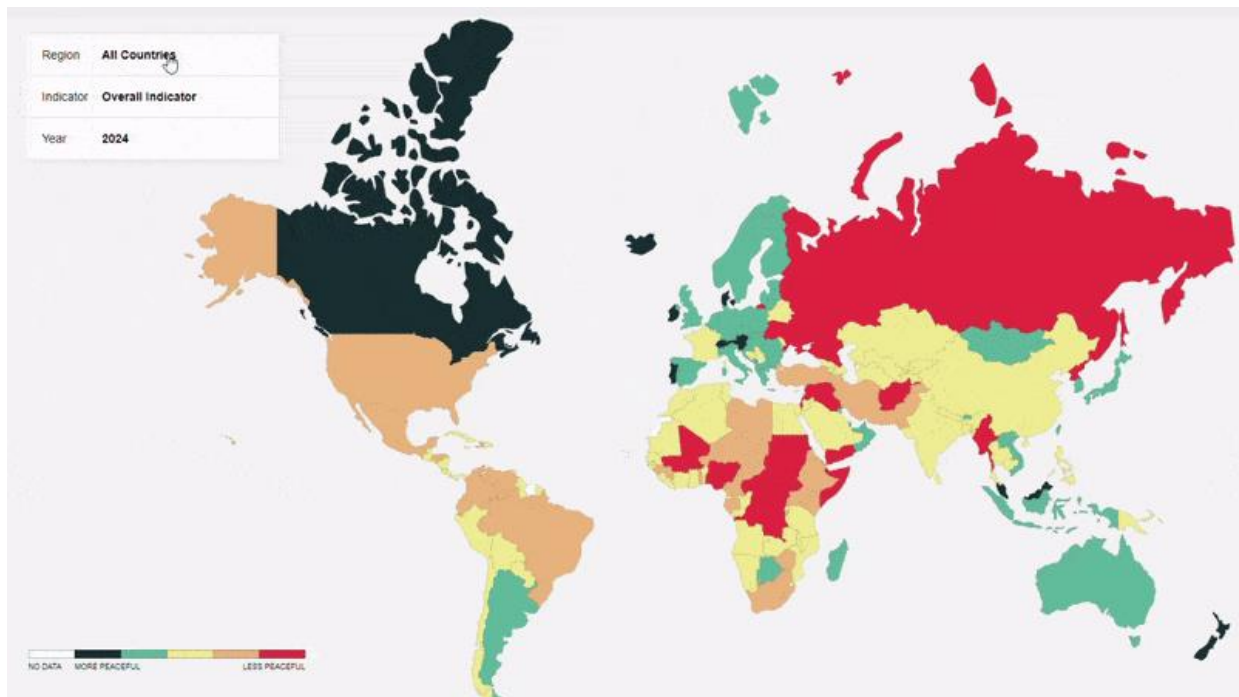
### 1. 「The Global Peace Index」について

Global Peace Index は各国の平和の程度およびそれを維持するための機能を指数化し、ランク付けしたものである。2007年に実施された第1回調査ではその対象は121カ国であったが、今回の2024年版では163カ国を対象に調査が行われている。

平和指数は EIU 社の国別調査員と外部ネットワークの協力を得て作成されている。指数は小型破壊兵器 (銃、小型爆発物など) の入手の容易さ、国防費<sup>1</sup>、汚職、人権に対する尊重の度合いなど24項目をベースにして作成されたものである。

「世界平和指数」の査定結果には以下のような特徴が見られる。

- ・ 平和の度合いは収入、教育制度、地域一体化のレベル等の指標に関連している。
- ・ 平和な国の多くは政府の透明性が高く、汚職が少ない。
- ・ 小さいが安定した国は平和のランクが高い。



(平和の世界地図：黒色 Very high、緑色 High、黄色 Medium、茶色 Low、赤色 Very low)

(世界163か国中で日本は17位、米露主要中東諸国は軒並み100位以下！)

## 2. 2024年の世界ランク及び2023年との比較(末尾表8-T01 参照)

2024年の平和指数世界1位はアイスランドでスコアは1.112である。これに続く世界5位までにはアイルランド、オーストリア、ニュージーランド及びシンガポールがあがっている。上位3か国は西ヨーロッパ、4位、5位はアジア・大洋州の国家である。なお今回と昨年を比べると1位から4位までは順位に移動があるものの昨年と同じであり、デンマーク(昨年2位)とシンガポール(昨年6位)が入れ替わっている。

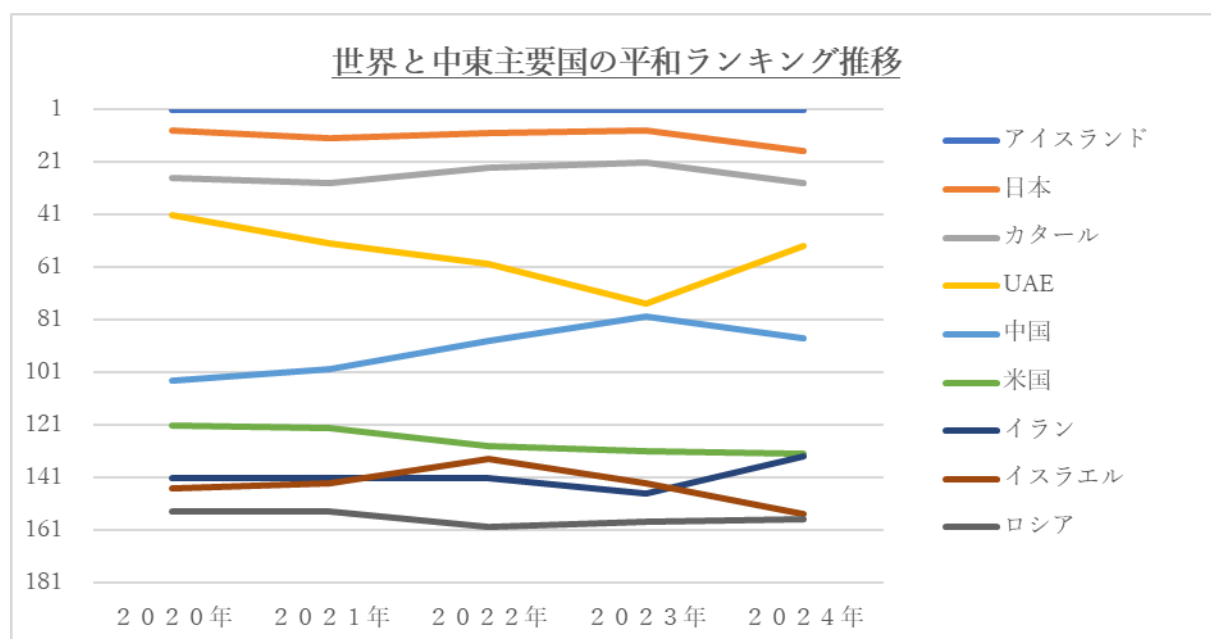
日本を含む主要な国々の世界ランクを見ると、日本は17位(スコア1.525)で順位が昨年の9位から17位に落ちている。中国も昨年の80位から88位に下がっている。米国、インド、ロシアはいずれも世界100位以下であり、インドは116位、米国はさらに低い132位にとどまっている。両国の昨年の順位はそれぞれ126位及び131位であり、インドが10ランクアップしたのに対して米国はわずかながら順位が下がっている。ロシアは157位であり昨年と変わらずほぼ最底辺にとどまっている。最下位の163位はイエメンである。

中東各国を見ると、トップはカタールで同国の世界順位は29位と世界的にみても高い。前年と比べると指数、ランクともにダウンしているが、それでも中東諸国の中では抜きん出た平和指数を獲得している。カタールに次ぐのはUAEで世界ランクは53位である。昨年の同国のランクは75位であり、今年は大幅に改善している。

その他の中東諸国はすべて100位以下にとどまっている。産油国サウジアラビアの世界順位は163カ国中の102位である。エジプトはサウジアラビアをわずかに下回る105位にランク付けされている。イラン及びトルコはそれぞれ133位、139位であり、イスラエルは155位である。昨年はイスラエルが143位、イラン及びトルコが共に147位であり、順位が逆転している。イスラエルの昨年と今年を比較すると、指数は2.706から3.115に悪化し、順位も12ランク急落している。

(急激に悪化するイスラエル、米国に並ぶイラン!)

### 3. 日米中露と中東主要国の世界ランクの推移(2020年~2024年)



2020年から2024年までの平和指数世界ランクの推移を見ると、アイスランドは5年間を通じてトップを維持している。2020年の日米中露と中東主要国のランクは日本が9位、カタール27位、UAE41位であったが、その他の国々はいずれも世界100位以下であった。

日本はその後10位前後を維持したが2024年は17位に悪化している。米国の世界順位推移は121位(20年)→122位(21年)→129位(22年)→131位(23年)→132位(24年)と近年は順位が下がる傾向が見られる。一方中国は104位(20年)→100位(21年)→89位(22年)→80位(23年)→88位(24年)と昨年まで4年連続して順位が上昇し、米国との格差を広げてきた。しかし今年は88位と若干下がっている。

中東諸国の中ではカタールが27位(20年)→29位(21年)→23位(22年)→21位(23年)→29位(24年)と世界20位台を続け、中東諸国の中では飛び抜けて高いランクを維持している。カタールに続くUAEは2020年の41位から2023年には75位に3年連続して急落し、今年は53位に上昇して再びカタールに接近している。カタールは2

022年のワールドカップ開催のため治安の維持、平和イメージの向上に多大な努力を払ったことがうかがわれる。

イランとイスラエルは共に140位前後であるが、毎年順位が逆転するほど競り合っている。即ち2020年はイラン141位に対しイスラエルは145位であったが、その後の両国の順位は、イランが141位(21年)→141位(22年)→147位(23年)→133位(24年)であり、一方イスラエルは143位(21年)→134位(22年)→143位(23年)→155位(24年)とイスラエルの振幅が激しい。イスラエルは昨年10月のガザ空爆に始まり、現在はレバノン南部でヒズボラ勢力と戦闘中である。さらに今後イランを巻き込む大規模な紛争に発展する可能性も否定できず、イスラエルとイランの平和指数は共に悪化の一途をたどりそうである。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-Mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

## 世界平和指数(GPI)ランキング

2024年			2023年		2024/2023年	
世界順位	国名	スコア	順位	スコア	順位	スコア
1	アイスランド	1.112	1	1.124	0	0.012
2	アイルランド	1.303	3	1.312	1	0.009
3	オーストリア	1.313	5	1.316	2	0.003
4	ニュージーランド	1.323	4	1.313	0	▲ 0.010
5	シンガポール	1.339	6	1.332	1	▲ 0.007
最下位 (163位)	イエメン	3.397			-	-
17	日本	1.525	9	1.336	▲ 8	▲ 0.189
46	韓国	1.848	43	1.763	▲ 3	▲ 0.085
88	中国	2.101	80	2.009	▲ 8	▲ 0.092
116	インド	2.319	126	2.314	10	▲ 0.005
131	ブラジル	2.589	132	2.462	1	▲ 0.127
132	米国	2.622	131	2.448	▲ 1	▲ 0.174
157	ロシア	3.249	158	3.142	1	▲ 0.107
	(中東主要国)					
29	カタール	1.656	21	1.524	▲ 8	▲ 0.132
53	UAE	1.897	75	1.979	22	0.082
102	サウジアラビア	2.206	119	2.260	17	0.054
105	エジプト	2.212	121	2.267	16	0.055
133	イラン	2.682	147	2.800	14	0.118
139	トルコ	2.780	147	2.800	8	0.020
155	イスラエル	3.115	143	2.706	▲ 12	▲ 0.409
156	シリア	3.173	161	3.294	5	0.121

1 世界ランクシリーズ 7「世界と中東主要国の軍事費」参照。  
<http://mylibrary.maeda1.jp/0575WorldRank7.doc.pdf>